

大阪府泉佐野市の「子ども第3の居場所」(A)
コミュニティモデルにおける子どもへの体験機会の
提供(2023)
完了報告書

令和5年4月

NPO法人
麒麟子ども応援団

Ⅰ 事業計画

(1) 事業目的

「キリンの家」に通う子ども達により豊かな体験機会を提供し、子ども達の「生き抜く力」を育む。

(2) 事業予定

1. 子ども達の宿泊体験合宿

(1) 期間：2023年7月、9月実施予定

(2) 場所：大阪府少年自然の家（大阪府貝塚市）

(3) 内容：体験機会が減少している子どもを対象に、自分たちで力を合わせて調理体験やキャンプファイヤー体験を行う

2. 一人親世帯の宿泊体験バス旅行

(1) 期間：2023年9月実施予定

(2) 場所：京都

(3) 内容：一人親世帯の親子を対象とした牧場や水族館を訪れるバス旅行

3. 不登校児童の三重県への宿泊体験バス旅行

(1) 期間：2023年11月実施予定

(2) 場所：三重県伊勢

(3) 内容：体験機会が少ない不登校の子ども達を対象とした宿泊体験

4. 非認知能力を高める体制整備

(1) 期間：2023年7月～2024年4月実施予定

(2) 場所：キリンの家

(3) 内容：複数のスタッフが一貫して子どもの非認知能力育成に取り組めるよう、専門家と連携した非認知能力シートの作成及び毎月の測定

5. 東北の豊かな自然環境や暮らしについての学ぶ体験プログラム参加

(1) 期間：2024年3月実施予定

(2) 場所：宮城県石巻市

(3) 内容：MORIUMIUSで体験活動の実施

II 事業実績（参加人数）

1. 子ども達の宿泊体験合宿

| こども | 大人 | 合計 |
|-----|----|----|
| 44 | 6 | 50 |

2. 一人親世帯の宿泊体験バス旅行

| こども | 大人 | スタッフ | 合計 |
|-----|----|------|----|
| 10 | 10 | 8 | 28 |

3. 不登校児童の三重県への宿泊体験バス旅行

| こども | スタッフ | 合計 |
|-----|------|----|
| 13 | 4 | 17 |

4. 非認知能力を高める体制整備

| こども | スタッフ | 合計 |
|-----|------|----|
| 20 | 7 | 27 |

5. 東北の豊かな自然環境や暮らしについての学ぶ体験プログラム参加

| こども | スタッフ | 合計 |
|-----|------|----|
| 9 | 2 | 11 |

(3) 活動内容

1. 子ども達の宿泊体験合宿

- (1) 期間：7月28～29日、3月18～19日実施
- (2) 場所：大阪府少年自然の家（大阪府貝塚市）
- (3) 対象：子ども44名、大人6名
- (4) 内容：体験機会が減少している子どもを対象に、

自分たちで力を合わせて調理体験やキャンプファイヤー体験を行った



2. 一人親世帯の宿泊体験バス旅行

- (1) 期間：2023年9月9～10日実施
- (2) 場所：京都
- (3) 対象：子ども10名、保護者10名、スタッフ8名
- (4) 内容：一人親世帯の親子を対象とした牧場や水族館を訪れるバス旅行。



3. 不登校児童の三重県への宿泊体験バス旅行

- (1) 期間：2023年11月9～10日実施
- (2) 場所：三重県伊勢
- (3) 対象：子ども13名、スタッフ4名
- (4) 内容：体験機会が少ない不登校の子ども達を対象とした宿泊体験



4. 非認知能力を高める体制整備

- (1) 期間：2023年7月～2024年4月実施
- (2) 場所：麒麟の家
- (3) 対象：子ども20名、スタッフ7名
- (4) 内容：複数のスタッフが一贯して子どもの非認知能力育成に取り組めるよう、専門家と連携した非認知能力シートの作成及び毎月の測定

5. 東北の豊かな自然環境や暮らしについての学ぶ体験プログラム参加

- (1) 期間：2024年3月29～13日実施
- (2) 場所：宮城県石巻市
- (3) 対象：子ども9名、スタッフ2名
- (4) 内容：MORIUMIUSで体験活動の実施



Ⅲ 事業総括

全ての事業について、実施時期の変更はあったものの目標達成することができた。

第三の居場所で繋がる子ども達や、子育て世帯にさまざまな体験活動を実施できたことは非常によかった。引き続き、安全に体験事業を終えられるようスタッフと準備して臨みたいと思う。

NPO法人麒麟こども応援団は理念を「子ども達が自分の未来に踏み出せる場所を創造する」としており、まさに居場所で培かれた安心感や信頼感は新たなチャレンジができる環境を作る。そのため、さまざまな体験事業を通して、「チャレンジしたい」という思いで一步踏み出せるような居場所を創っていきたいと考える。